

『地域密着型金融』の取組み状況について

(平成21年4月 ~ 平成22年3月)

山梨県民信用組合は、信用組合の原点である相互扶助の精神を基本とし、お客様と十分なコミュニケーションを図り、地域の中小規模事業者の資金ニーズに迅速に対応しております。

特に平成19年3月までの「地域密着型金融推進計画」を踏まえ、同年4月からは、「地域密着型金融」を恒久的な取組みとして位置付けており、担保や保証に過度に依存しない融資に取り組むなど、中小規模事業者に適した資金調達手段の提供に取り組んでおります。

また、平成21年10月には総合相談センター『パートナーズ』を開設し、お客様のサービス向上、中小規模事業者向け融資の拡大及び事業の発展・再生に対する支援態勢の更なる強化に取り組んでおります。

けんみんの グッドパートナー



◆ 平成21年度(21年4月から22年3月)の取組み状況

当組合は平成19年4月より、「地域密着型金融」を恒久的な取組みと位置付け、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」「中小企業に適した資金供給手法の徹底」「維持可能な地域経済への貢献」等の取組みを推進しています。信用組合の『強み』である地域社会に密着した営業活動を生かし、事業者の事業の発展・再生に対する支援態勢の強化に取り組むとともに、地域利用者の利便性の向上にも取り組んでおります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

○ 創業・新事業支援

信用組合の中心的な取引先であり、地域の担い手でもある中小零細事業にとって大変厳しい環境である中、活性化を促すべく、創業及び新規事業への積極的支援を行いました。

○ 経営改善支援

金融機関の立場から収益性の向上や生産性の向上に資する助言を行うなど、経営改善及び財務改善をサポート致しました。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

○ 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み

事業特性上、一時的に不動産担保額を超える資金を要する事業者に対し、動産担保を設定することで資金繰りの円滑化を図りました。

○ 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

良質な融資の増加を図るため、企業の財務分析及び経営管理分析を的確に成せる能力を身につけるべく取組みました。

事業再生経営支援に取り組むため、定期的な内外の研修受講、あるいは外部講師を招いての融資担当者研修会を開催し、企業分析力の向上を図りました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

○ 地域経済の活性化につながる多様なサービスの提供

富士山の世界文化遺産登録を目指す活動への協賛や、山梨県中小企業中央会主催「中小企業組合まつり」への協賛など、地域社会貢献に取り組みました。

個別項目	取組み内容	取組み結果等
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新規事業支援		
○創業・新規事業支援への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者に対しては、公的制度融資による資金調達方法の紹介を行い、創業等の支援を行うよう、総合相談センター及び融資営業係を中心とした案件発掘に注力した。 ・営業活動を通じて集積される情報の精度や実現性の判断に当たる担当者の育成を図るべく、山梨県信用組合協会主催の「目利き力強化」研修会に職員を派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業及び新規事業に関わる相談に対し、山梨県制度融資にて4件1,500万円の融資取り扱いを行った。
(2) 経営改善支援		
○支援先に対する経営改善支援の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・86グループ191先を支援先として選定し債務者毎の取組み方針に基づき支援先の定例訪問により改善のための取組みを実施。 ・支援先とのヒアリングには、キャッシュフロー分析表による財務内容の分析および個社別取組方針の検証により、問題点と改善内容を提起し役員の意識改革と自社の現状および今後の対応の認識を図った。 ・経費削減の指導および進捗状況のモニタリングにより収益管理の強化と財務内容の改善、適正なキャッシュフローの確保に努めた。 ・建設業者への定例訪問により、資金繰り表より収支内容の検証と経費削減の指導、手持ち工事一覧表より工事状況および今後の受注状況の把握と工事毎の予算(原価)管理を図り、改善について顧問税理士とのヒアリングを活用し収益改善の指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社業況の実態把握が低かった経営者が、改善のための定例ヒアリングにより経営改善に対する意識と取組み姿勢が改善されてきた。 ・経営者の自社の実態把握がなされ、コスト削減等改善への取組みにより、経営改善が図れてきた。

個別項目	取組み内容	取組み結果等
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金提供手法の徹底		
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み		
○ 動産担保(ABL)への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好品製造販売事業者に対し、資金繰りの円滑化を目的として動産担保融資の設定を打診。完成品に対する設定が適当な状況ではなかったことから、仕掛品を対象として動産譲渡担保を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 動産担保を取組むことにより、債務者の資金繰りが円滑になった。
(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み		
○ 融資審査能力の向上等人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 融資担当者および役席者のスキルアップを目的に、全国信用組合中央協会や山梨県信用組合協会が主催する研修会に派遣した。 毎月1回の融資担当者及び役席者のレベルに見合った内部研修会を融資部、管理部及び企業支援部が輪番担当により、計9回開催した。また、山梨中央銀行融資担当者による「融資・管理」研修会を開催し、職員のレベルアップに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 審査能力の変化を目に見える形で示すことは困難であるが、融資担当者のスキルは着実に向上を見せている。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域経済の活性化につながる多様なサービスの提供		
○ 地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県をホームとするJリーグ(ディビジョン2)加盟のヴァンフォーレ甲府の活動に協賛し、ホーム開催時にグラウンド配置の広告看板を掲示した。 山梨県ボランティア協会との連携事業として、富士山をきれいにする会「子富士の会」の活動に協賛し、富士山5合目周辺の清掃活動を実施した。 県都甲府市にて開催の「甲府大好き祭り」への協賛活動として、参加イベントであるダンスパレードに32名参加した。 山梨県中小企業中央会主催「中小企業組合まつり」への協賛活動として、祭事会場に模擬店を出店した。 	<ul style="list-style-type: none"> ヴァンフォーレ甲府主催試合における広告看板設置を行うことで、地元プロスポーツチームの経営安定化及び地域活性化に貢献した。 山梨県ボランティア協会との富士山5合目周辺の清掃活動を通じて、観光立県を目指す山梨県を拠点とする地域信用組合としての社会的責任の一端を果たした。 各種イベントに人的支援を行うことで、官民連携しての活性化事業の成功に貢献した。